橋下知事に異議あり！

くらし・教育・文化を守れ！

府民集会に1100人

「ちょっとまって！橋下知事さん」と２月12日、府立青少年会館大ホールに各界・各層から1100人の府民が大集合。府民施策を切り捨てる橋下行革に怒りの声をあげました。私学助成削減、医療費負担増、国際児童文学館廃止、センチュリー交響楽団の補助金大幅カット、府立学校の非常勤職員350人の首切りを強行する一方で、ダム、高速道路、府庁移転などムダな事業をすすめる橋下府政。２月24日から始まる府議会へ声をあげましょう。

市長リコールで松原市民病院の存続を！

昨年末に市民病院を廃止する暴挙にでた松原市に対し、市民の運動は市長解職請求（リコール）運動に発展しています。リコール署名の期間は２月16日から３月16日まで。有権者３分の１以上の署名でリコールを成立させるために、大阪自治労連も連日支援をしています。

街頭でリコール署名への協力をよびかける市民団体と大阪自治労連の支援者

自治労連 おおさか自治体の仲間

発行：大阪自治労連（大阪自治体労働組合総連合）　2009年２月15日　No.241

〒530－0041　大阪市北区天神橋１－13－15大阪グリーン会館４Ｆ　☎06－6354－7201　FAX06－6354－7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp

発行人／谷　真琴　　編集人／久保　貴裕
平成２年９月12日第３種郵便物認可
毎月15日発行（１部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。

市民が気持ちよく利用できるように、「ちょっと笑顔」を心掛けています。

高石市職労・図書館関連評議会

川端　宏江さん

高石市立図書館司書

「図書館の自由、寛容な雰囲気が好きなんです」

高石市立図書館の司書として、本の貸出、返却、利用者の登録、案内、書架や資料の整理、本の修理など多忙な業務を担っています。カウンターに訪れる市民からは、図書館のことだけでなく、市役所の業務について様々な質問を受けることも。市の行政全般に通じた自治体職員としての対応も求められます。

「非正規だから」とあきらめないで

図書館の基幹的な業務を担っているのに身分は非正規で非常勤職員。賃金は正規職員の高卒初任給の４分の３に１万円の加算で、年収は約２００万円。毎年３０００円の経験加算がありますが、20年間働いてやっと３００万円に到達します。正規に比べると賃金は２分の１以下です。退職手当もなく、正規には保障されている育児や妊産婦の特別休暇もありません。「もともとは正規職員がしていた仕事を、非常勤の私たちが担っているんです。だから賃金も権利も均等に待遇にすべきです」

労働条件を改善するために、高石市職労・図書館関連評議会の役員も務めています。「賃上げや休暇の拡充など、労働組合で要求して少しずつ改善をかちとっています。非正規だから…と、けっしてあきらめてはいけません」

窮屈な世の中に大切な場所

大学を卒業後、就職の機会に恵まれず、家の中で悶々と過ごしていた時期がありました。「資格をとって働きたい」と大学の社会人講習を受講して司書の資格を取得。地元の市立図書館の司書として働くことができました。それから８年間。職場で経験を重ねるほど「いい仕事がしたい」という思いはふくらみます。

「訪れた人が気持ちよく利用できるように、カウンターでは『ちょっと笑顔』を心掛けています。窮屈な世の中だからこそ、市民にオープンで、誰でも無料で通える図書館は大切な存在。子どもたちにとっても、安心して過ごせる居場所であり続けたいと思っています」

地元の幼稚園から感謝の寄せ書きが届きました